

第 24 回「戦争と医の倫理」の検証を進める会 世話人会会議報告

- ◇日時 2012年12月23日(日) 13時～16時(以後、忘年懇親会)
◇場所 東京・保団連会議室
◇参加者 石川徹、西山勝夫各代表世話人、筋昭三、光石忠敬、吉中丈志各常任世話人、住江憲勇事務局長、香山リカ、川嶋みどり、岡田朝志、刈田啓史郎、長島隆各世話人
(事務局)原文夫、相場康文、室井正、小林耕治各氏
オブザーバー 垣田さち子京都府保険医協会副理事長、浜松章京都府保険医協会事務局員
◇議長 住江憲勇事務局長

◇報告及び協議事項

1. 京都府保険医協会との懇談(12/13)、及び世話人会への参加について

懇談の概要メモ(世話人会資料参照)にそって、京都協会としての活動や出されている主な意見、意見交換の概要と今後の方向性などについて事務局より報告。
垣田京都協会副理事長より挨拶があり、浜松事務局員が紹介された。

2. 第22回世話人会(10/8)、第23回世話人会(11/4)の各会議報告の確認

事務局より要点の報告があり、第23回世話人会会議報告の文中で、「聴取」→「聞き取り」に訂正することです承。

3. この間の主な活動報告について

(1) 11/17 国際シンポジウム等について

事務局よりシンポジウムの開催概要が報告された。今回の成果をふまえ、今後の医学界・医療界での検証が進むよう努力していくことを確認。報告の要点は下記の通り(細目は世話人会資料参照)。

① 開催概要

シンポジウム参加者は雨天の中261人。討論では21枚の質問用紙が提出され、議論が深められた。参加者のアンケートは37枚で、寄せられた全体の感想は「よかった」が大多数を占めた。寄せられた意見は内容を整理し今後の活動に反映させる。

② 収支概算報告(パネル展示を含む収支概算)

収入残高概算 590万円－支出概算 537万円(執行済み約400万円＋未執行約137万円)＝支出後の概算残高53万円(2012.12.23現在)が事務局より報告された。

当日の懇親会収支は、会費収入で対応できる見込み(3人会費請求中)。

③ 開催前後の新聞報道等は、朝日、京都、京都民報、赤旗で報道された。

(2) パネル展示(京都大学)等について

パネル展示(11/16～21)については、延べ200人位の来場者があり、10歳代～80歳代まで幅広い年齢層だが、60歳代が一番多く大学生が少なかった。展示内容に対するアンケートは83枚寄せられ、来場者からは、「戦争医学犯罪の実態を知り驚いた。多数の人に見て欲しい。京都大学で企画したのはよかった。常設展示も検討を」など、関心を高める機会になった。「パネル集」は96冊販売し、会場内でのDVD上映も好評であった。

なお、国際シンポジウム参加者、パネル展示来場者アンケートについては、内容を見やすく整理し、今後の活動に反映させるよう活用する。

(3) 第29回日本医学会総会 井村裕夫会頭への要請(11/19)について

11月19日、日本医学会総会準備室で1時間ほど懇談を行った。井村会頭からは「企画はまだ白紙であり、要請の趣旨を組織委員会ではかりたい」旨の意向が示されたとの報告があった。

4. 以上の活動をふまえた今後の方向と課題

(1) 今後の方向と課題に関する総括的提案について

西山代表世話人より、国際シンポジウム、パネル展示の開催結果をふまえ、今後の方向と課題について総括的な提案が行われた。この提案は、当面の課題と中長期の課題も含まれることも前提に意見交換を行い、下記の課題を具体化、あるいは検討することとした。

① パネル展示関係

- ・今後のパネル展示を全国で行えるよう、掲示用の加工パネルの作成見積りを行い検討する。
- ・DGPPN 邦訳版についてはWEBで閲覧もできるよう関係者に打診する。
- ・外国語版の出版については、翻訳中の英語、中国語、朝鮮語、ドイツ語各版を出版し、新たに提案された日本語との対訳で4カ国語の同時表記による出版は、その目的や活用方法を含めて作成するかどうか今後検討する。
- ・パネル集「戦争と医の倫理」の著作権は、当会（代表世話人、常任世話人、世話人、事務局長）であることを確認する。翻訳版については、翻訳者、校閲者名を明記する。

② 国際シンポジウム後の対応

- ・記録集の出版は、国際シンポジウムの概要がわかる内容で編集し、簡易印刷とする。
- ・市販用については、岩波ブックレットで検討できるか川嶋世話人が打診する。
- ・シンポジウムの映像記録については、進行プログラムにそって節目のタイトルを入れて編集を行いDVDとして保存する。

③ 第29回日本医学会総会に向けて

- ・井村日本医学会会頭との懇談をふまえ、引き続き企画に反映されるよう努力する。
- ・同時に、独自企画として、DGPPN シュナイダー前会長や中国の731部隊罪証陳列館長などによる国際シンポジウム、日独協同展示など検討する。
- ・高久日本医学会会長への要請、各医学会宛の要請
- ・横倉日本医師会長への要請、主要大学などへの要請
- ・国際交流としてドイツでの講演と展示、医学関係団体等との交流など
サーラ・スヴェン上智大学准教授との連携、731部隊罪証陳列館での展示など

④ 宿題の検証課題

- ・「医の倫理」の内容を深めることや、検証を進める「現代的意義」など検討の継続

⑤ 当会の今後の活動方向

- ・2015年、京都を中心に関西で開催の医学会総会も念頭に置き、開催地実行委員会（仮称）など世話人会体制のあり方の検討、賛同者の拡大と連携、財務強化
- ・国内外の学術雑誌への寄稿など学術活動

(2) 上記関連の提案、関連資料について

- ①国際シンポジウムのブックレット企画（案）については、前項4の（1）の②として具体化することとした。
- ②横倉日本医師会会長、及び高久日本医学会会長宛の要請文（案）が提案され、内容を確認し要請することとした。
- ③国際シンポジウムでのバスチアン氏への質問への返答文の日本語訳は、再整理することとした。
- ④松井英介氏（岐阜環境医学研究所所長）の当会世話人の就任を確認した。
- ⑤討論の参考として下記資料（世話人会資料に収録）が紹介された。
 - ・第29回日本医学会総会開催趣意書
 - ・平岡諦氏の「医療ガバナンス学会」掲載論考

5. その他

- (1) 「日本の科学者」編集委員から国際シンポジウムの寄稿依頼があり、要請に応じて対応することを確認した。
- (2) 元731部隊員（中松宗恒氏）の聞き取り内容が事務局より報告された。
- (3) 次回開催予定 日時 2013年3月20日（水・祝日）10:30～16:00
会場 保団連会議室

以上